

目指すべき学校像	国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。
重点目標	A 学校の教育理念や歴史を理解し、学校に誇りを持つ。 B 自らの進路を主体的に考え、学習に生かすことができる。 C 生徒にとってかけがえのない学校生活を充実させる。 D 教育環境に対し、常に最高の教育環境を維持する。 E 国際社会を見据え、韓国人としての矜持や国語（韓国語）を学ぶ礎を築く。

達成度	A	ほぼ達成	(80%以上)
	B	概ね達成	(60%以上)
	C	変化が見られる	(40%以上)
	D	不十分	(40%未満)

達成度は生徒アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の数値(%)の合計で表す。

学 校 評 価					年 度 評 価			学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標					年 度 評 価			学 校 関 係 者 評 価
重点目標	設問番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
A	1. 2. 3. 4	昨年度、回答設問に対する肯定的な回答の割合が58%にとどまったのを受け、改善の努力が必要な状態である。本校創立の背景・経緯を理解し、学校運営の継続がいかに意義のあることであるかを理解することにより、本校で学ぶことへの誇りを持たせることが生徒のより良い成長につながることから、継続的な取り組みが必要な状況である。	生徒自身が学校設立の背景を理解し、誇りを感じることができるといえる取り組みの実施。	・記念講話の実施に先立ち、生徒達への資料配布に留まらず、事前に講義内容を広く提示し、その意義を周知。 ・創立記念講話においては、校長による講話を通し実施創立当時の状況や苦難を乗り越えた経緯を生徒たちがより深く理解できる内容で実施。	・「学校に誇りを感じる」生徒が2/3を超える。 ・「学校設立」背景を理解する生徒が2/3を超える。 ・本校が目指す生徒像を理解する生徒が2/3を超える。	・設問の1～4の肯定的な回答の割合は、昨年度平均58%に対し、今年度は63%となった。特に設問1「本校創立の精神と歴史を理解している。」が68%となり、一定の成果が上がっているものと考えられる。	B	・記念講話に關しての事前のポスター等による周知を継続するとともに、総合の時間などを利用し生徒が調べ学習等を行うことにより意識向上を喚起する方策を実施する。 ・学校設立当時を記録した「幻のフィルム」の活用をより推進するとともに、学校設定科目である在日韓国人形成史の授業との連携を図ることにより、生徒達の関心・理解をより深いものにする。
B	5. 6. 7	ここ数年、韓国、日本を含めて進路状況の実績は向上しており、生徒達の進学意欲は学年が進むにつれて高まる傾向がある。ただ、昨年度において該当項目の肯定的な回答の割合が、58%にとどまっており、教員の指導体制の強化が必要な状況である。特に進路を見据えて学習活動が出来ているという生徒の割合が低く、学習活動の意義を認識させる指導が不足している状況が浮かび上がっている。	進路の選択及び進路希望実現にむけた効果的な取組の実施。	・本校主催の進路説明会の早期実施及び内容の充実。 ・正確で的確な進路情報の伝達の為の、三者面談の活用。 ・大学説明会、進学フェアへの全生徒の参加。 ・職業別ガイダンスの充実による進路への意識付け。 ・模擬テストの有効活用 ・補習授業の充実と強化のための予備校との連携。	・進路に関する設問に対する肯定的な回答が2/3を超える。	・肯定的な回答の割合は、設問5～7の平均で64%となり、昨年の59%を上回ってはいるが、今後の更なる指導強化は必要な状況である。 ・学校で実施された説明会への生徒・保護者の説明会参加率は高くなった。特に、大学が来校し実施した説明会は生徒・保護者の好評を得た。 ・進路設定の参考となる進学フェアへの全員参加により、早期に進路に対する意識を持つようになった生徒が増加している。	B	・生徒の進路に対する意識付けを早期に行う為のガイダンスや説明会の実施の継続。 ・大学、専門学校等との連携による進路関係行事の実施。 ・卒業生による受験体験談や効果的な受験対策等の講演の実施。 ・進路指導室に設置している資料の周知をより以上徹底し、生徒の活用を促す方策の実施。
C	8. 9. 10. 11. 13. 14.	昨年のアンケートでは、該当項目の肯定的な回答の割合が57%となり、授業の在り方、行事やクラブ活動、教員の生徒に対する対応の面においてより一層努力が必要な状況である。近年、韓国から来た生徒で日本語の理解力が十分でない生徒の比率が増えてきたことから、そのバックアップ体制の強化も必要である。また、様々な要因から不登校傾向を見せる生徒の割合も増えており、生徒・保護者に対するケアの必要性も増している。	確かな学力の育成と授業改善	・授業改善にかかわる情報の収集と共有 ・IT機器の授業への活用 ・生徒のニーズに応える教育課程の改善 ・少人数制を生かした授業展開の強化 ・日本語韓国語併記による板書、教材準備の推進。	・生徒の授業満足度(設問8～10)80%以上を目指す。	・設問8～10の肯定的な回答の割合は、昨年の59%に対し65%と改善が見られたが、「授業は工夫されていてわかりやすい。」に対しては55%とより一層健闘が必要な結果となった。	B～C	・教員が教授法及び教材作成活用法などを共有出来るよう、積極的に教員間の授業見学や教科内の会議を行う。 ・アクティブ(ディーブ)ラーニングやIT機器の積極的な活用により生徒が自主的に学習に取り組める授業を展開出来るよう、教員の研修への積極的な参加を推進する。 ・早朝小テストの実施を継続するとともに、より効果的な方策を模索する。 ・科目に応じた習熟度別クラス編成の導入を継続する。 ・教員の生徒指導に關して意識の持ち方を改革し、生徒の人格や人権を尊重する意識を高めるとともに、生徒が心を開ける環境を作る。 ・保護者との連絡をより密にし状況に応じては、家庭訪問を積極的に行う。 ・悩みを抱える生徒が自発的に教員に相談をすることが難しい状況があると思われるので、教員による積極的な生徒への声掛けを行う意識を涵養する。
			安心して通える学校生活づくりを目指す	・学校や教員に対する信頼を高める取組みの実施。 ・カウンセラーの助力を強化する。 ・登校指導時の生徒の見守りにより、早期に変化を見つける取組みの実施。	・設問14の肯定的な回答の割合80%を目指す。	・設問14の肯定的な回答は昨年の55%から59%へと若干の改善は見られた。 ・カウンセラーの助力はより強化され心のケアが必要な生徒へのフォローはかなり効果を上げていることを実感できる。また、保護者に対するカウンセリングも積極的に行われており、一定の効果を上げている。		
			学校行事を通じた教育の充実	・従来行事の強化 ・姉妹校との交流(交換留学等)の強化	・設問11の肯定的な回答の割合80%を目指す。	・設問11の肯定的な回答の割合は昨年同様56%に留まった。 ・天候の影響で本来行われるべき内容が縮小された。		
D	12. 13	・校舎の全面リニューアルから2年が経過したが、生徒たちの環境維持に対する意識が平均的に高く、施設や設備などは良い状態で維持できている。ただ、一部ごみのポイ捨てなどが見られる。	教育施設の充実と環境及び美化意識の向上により、充実した学校づくりを目指す	・施設の充実と有効活用 ・校内美化状況の確認と点検方法の見直し ・清掃活動奨励の強化 ・清掃用具の点検と充実	・設問12の肯定的な回答の割合80%を目指す。	・設問12の肯定的な回答の割合は昨年同様52%に留まってはいるが、校内の清掃状況は良好である。 ・清掃活動への取組みは生徒と教員が一体となって取組んでいる。	B～C	・施設や設備のさらなる充実を図るとともに、現有の施設や備品を大切に扱う意識を涵養する。 ・生徒会を通じて生徒自らが、美化意識を向上させる方向へ導く。 ・校内環境が清潔に保たれることの意義を理解させるための方策を実施する。
E	15. 16. 17	本校は民族学校として、その教育の柱に言語教育である韓国語教育を掲げている。英語を含め韓国語の学習は国際社会に通じる道であることは生徒達も認識している。生徒のニーズに答えるべく高い水準の韓国語教育を実践してきている。言語の習得を通じ生徒たちが自信を深めることは、学校教育全体への良い影響をもたらすものと考えられる。	韓国語によるコミュニケーション力の向上	・授業を進行を韓国語で行う割合を出来るだけ高めていく。 ・韓国語の弁論大会、スピーチ大会へのエントリーを奨励する。 ・協定校との交換留学等への参加を奨励する。 ・日常の学校生活において、韓国語を出来るだけ使うことを意識付ける。	・設問15～17の肯定的な回答の割合80%を目指す。	・設問15～17の肯定的な回答の割合は昨年の65%が今年71%となり、向上が見られた。 ・韓国語に関心を持つ生徒が多くなり、普段でも韓国語で話をしようとする生徒を見かける機会が増えた。	B	・コミュニケーション力向上に必修の単語力向上を期し、教科担当と担任団の連携の上で校内韓国語単語試験の合格率を向上させる取り組みの継続。 ・韓国語に関心を持つ生徒が多くなり、普段でも韓国語で話をしようとする生徒を見かける機会が増えた。 ・韓国の協定校との交換留学等への参加を更にうながし、実際に韓国語を使う機会を増やす。

学校関係者評価	実施日 2018年 3月 3日
学校関係者の意見・評価等	<p>【教育目標関連、民族教育関連】</p> <p>総じてこの2つに関連するポイントは高い。現在高校に通う生徒は多国籍の為、民族教育=多文化教育ともいえるが、本来の学校創立の意義、民族学校であることを理解し学校方針に賛同して建国を選択し、学べていると評価できる。</p> <p>【学習進路指導関連】</p> <p>「進路を見据えて学習活動を行うことができる」が生徒・教員・保護者共に低く、「授業は工夫されていてわかりやすい」の生徒評価が低い、一方で「わからないところについて質問しやすい」の生徒評価は高い。</p> <p>授業の分かりやすさの評価が生徒評価と教員の自己評価に隔りがあることを自覚して頂き、より工夫された授業の進め方や研究を希望する。</p> <p>進路に關して先生方には相談しやすく、個別の指導など感謝すべき点も多く信頼度も高いが、建国高校生は多種多様な進路(韓国やその他海外の大学、私立大学、国公立大学、専門学校、就職)がある為、生徒に目指す目標があり地道に準備できていれば良いが、将来どのような道に歩もうか迷いながら3年生を迎える生徒も少なくない。</p> <p>国公立志望であれば不足な教科が無いよう教科の選択や、文系・理系問わず必要な学習を行えるよう早期準備が必要である。早い時期から進路に向けて考える時間があれば受験対策もでき選択肢も広がるので、時間に余裕のある1、2年時から大学説明会、オープンキャンパス等に積極的に参加出来るよう指導・機会を作っていただきたい。</p> <p>生徒達の感想も聞き取り十分な情報を元に生徒も親も考慮できる進路相談の場を希望する。</p> <p>【学校施設生活関連】</p> <p>総じて生徒評価が低めである。クラブ活動に關しては、伝統芸術部・バレーボール部・吹奏楽部など、人数も多く顧問・コーチの指導も充実しているクラブがある一方で、部員が少なく日常のクラブ活動が出来にくい、コーチや顧問の指導が不足している、体育館・グラウンド等練習場所に限りがある為練習できない等、他のクラブが発展しない、などの理由を考慮してもらい、指導面や練習場所の確保など改善を願う。</p> <p>授業内容、子ども達の学校での姿は親には見えにくい、個別に先生に相談したり、スクールカウンセラーの先生も対応して下さっている様子。現在生徒間で大きなトラブルは無いとのこと、今後も生徒が何でも相談できる学校であることを期待する。</p> <p>【総論】</p> <p>生徒評価に60パーセント未満のものがいくつかあったが、全般的に肯定的な意見が多く一定の評価水準には達していると思われる。</p> <p>他校に無い多様な背景、目的意識を持った生徒が通う高校であり、その目的や目標の個々に合わせた学びの場を提供することは難しいことだと思われるが、個別での対応、指導などの面で生徒からも信頼されていることが高く評価できる。今後は、学習面や進路指導の面でさらなる工夫、向上を期待する。</p>